

公益財団法人第五福竜丸平和協会  
平成 30 年度事業報告（案）  
平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日

本年度は展示館建物の大規模改修工事のため、4 月から 6 月末まで通常展示館業務を行い、7 月より 3 月までの 9 か月間長期休館に伴う業務形態となった。工事に際し、館内から全ての資料・展示物・備品の搬出入を行い、休館中は船体・エンジンの状態点検を行った。

平成 31 年 4 月のリニューアルオープンに向けての常設展示の一部を刷新と新しい映像展示作成、カラー新版の日英パンフレット制作を行った。「休館中でも第五福竜丸からの発信」として展示館外での写真展や企画、写真パネル・資料の貸し出し、学芸員による「出前授業」等を積極的に行った。休館中を通して、平成 31 年度以降の見学予約の受付、夢の島公園内工事等への問い合わせ対応

展示館ガイド、資料の搬出入、記念行事等には展示館ボランティアに加え、学生ボランティアたちが多数参加した。

## 1 公益目的事業

### ①展示館業務

・当年度、第五福竜丸展示館は定められた休館日を除き、77 日間開館した。

7 月より 2019 年 3 月末までは、展示館改修工事のため休館した。

・4 月から 6 月の来館者総数は 35,437 人、うち団体見学数 272 団体、11,947 人（うち小学校 41 校 2,161 人、中学校 89 校 6,205 人、高等学校 21 校 931 人、大学 15 校 276 人、その他の青少年団体 7 団体 283 人、その他の団体 83 団体 2,095 人）、一般来館者 23,490 人であった。海外からの来館者も多く、館内アンケートや来館者ノートへの記帳によれば、（中国、オーストラリア、ニュージーランド、フランス、ベルギー、ドイツ、アメリカ、イギリス、ロシア、カナダ、オランダ、デンマークなどから来訪している。

・見学者に対して、学芸員・ボランティアが逐次解説し、より理解が深まるよう見学をサポートしたほか、学生のレポート課題等への対応も行った。

第五福竜丸の存在意義を広報すべく「福竜丸だより」を 6 回発行した（各回 1000 部発行し、賛助会員、協力者・協力団体等に郵送。館内外で配布）。

### ②企画展・展示替等

#### 【展示替】

リニューアルオープンに向けての展示物を作成、準備した。

・常設展示・・・左舷展示（水爆ブラボーから第五福竜丸の被災、マグロ騒動、放射能雨、原水爆反対の声ひろがるに関する展示）を一新した。水爆実験、被害の概要に関する英文説明を新設した。

・映像展示・・・3 点の映像展示を制作した。導入「第五福竜丸展示館へようこそ」、証言「元乗組員・大石又七は語る」、構造「3D 映像でたどる第五福竜丸」。

・資料整理・・・第五福竜丸乗組員の事件当時の衣類、所持品等の現物資料を燻蒸した。原水爆禁止署名簿、紙票資料（手紙、報告書等）の再整理を行った。

#### 【第五福竜丸と世界の核被害展】

・夢の島公園特設会場（9 月 22 日～24 日）夢の島公園熱帯植物館西側芝生ひろばにて、テント 4 張（26 m<sup>2</sup>）の仮設会場にて豊崎博光氏より寄贈を受けた「世界の核被害」写真パネルによる写真展を開催。第五福竜丸に関する写真パネルも展示し、豊崎氏は解説を行った。9 月 23 日同会場では恒例の久保山忌の諸行事（「第五福竜丸で平和を語る集い」「久保山忌句会」「築地にマグロ塚を作る会」「東京原水協学習会」）参加者による見学会等が催された。

・東京 YWCA（11 月 13 日～12 月 16 日）東京 YWCA 会館エントランスホールにて、第五福竜丸の写真と豊崎博光氏「世界の核被害」写真展を開催した。会期中豊崎氏による講演と、大学生の授業（立

教大学、学習院女子大学、恵泉女学園大学)が行われた。

・明治学院大学国際平和研究所主催で5月26日-27日(戸塚キャンパス)、11月3日-4日(白金台キャンパス)で豊崎博光氏「世界の核被害」写真展が開催された。

### 【3・1記念 特別上映会】

3月2日 シネマハウス大塚にて開催。のべ200人参加。ゲストにキース・レイミンク監督(『西から昇った太陽』)、坂田雅子監督(『わたしの、終わらない旅』)、廣瀬勝巳(上智大学客員教授、元気象研究所)を迎えた。

### 【特記事項】

4月1日 エンジンの元所有者(第三千代川丸船主)遺族来館

4月8日 明治学院大学国際平和研究所主催見学会。オーストラリアの研究者等。

4月14日 触察ワークショップに視覚障がいをもつ参加者を含む13名が参加。

4月25日 地球化学研究協会より「霞が関環境講座」講演要旨集寄贈を受ける

5月10日 東京文化財研究所近代文化遺産研究室員ら来館

5月15日 柴田徳衛顧問(東京都元企画調整局長)死去

7月1日~20日 展示館内資料・備品の搬出

7月19日 船体の温湿度計測のためのデータ・ログを設置

8月17日 樋口敏広氏(ジョージタウン大学)を囲んで研究会実施、明治学院大学国際平和研究所共催

9月23日 久保山忌

12月14日 第五福竜丸をモチーフにとった音楽朗読劇「くじらのこえ なみのこえ」(企画・崔善愛 脚本・山谷典子 演出・辻輝剛士)和光小学校で初演。

10月20日 「工事の魅力発信」見学会実施。学習院女子大学、立教大学生参加。メディア公開

11月10日 「工事の魅力発信」見学会実施、早稲田大学、立教大学、日本大学、明治学院大学生参加

2月25日 第五福竜丸乗組員・見崎進氏死去。山本代表理事が葬儀に参列。

3月11日 展示館管理引継。リニューアル展示作成開始(3月31日まで)

### 【展示館内資料撤去及び復旧】

7月1日より20日まで、館内設置の展示物及び資料、備品類を全て撤去した。

3月11日より31日まで、館内の展示物の再設置、新しく制作した常設パネルの設置、映像展示の設置と清掃を行った。現物資料展示の見直し、閲覧コーナー(読む証言、書籍閲覧テーブル、絵本の原画データ展示)の新設と交換も行った。

館外では、エンジンの清掃と錆の進行を抑制する薬剤の塗布、久保山記念碑清掃、館周辺の植栽整備を行った。

### 【パネル・資料の貸出】

5月26日~6月6日 明治学院大学

6月18日~7月24日 三浦市学校巡回パネル展

6月22日~7月5日 杉戸町「

7月22日~8月1日 西宮市「原爆展」

7月31日~8月5日 さいたま市「原爆と人間展」

8月6日~8月15日 高知市平和の日記念事業

9月1日~9月2日 東京都江戸川区「戦争展」

7月21日~7月22日 三浦市ピースデー

8月4日~8月7日 平和のための戦争展・岩瀬須賀川

8月19日 あきる野市「原爆と人間展」

8月11日 会津若松市平和まつり日

9月3日 浦安市

9月22日~9月23日 岩倉高校文化祭

9月28日~10月9日 神奈川学園中等部後頭部

9月27日～9月30日 松戸市平和の学校  
11月1日～3日 明治学院大学白金祭  
11月5日～9日 三浦市学校巡回展  
11月18日 三浦市市民まつり  
11月24日～12月22日 学習院女子大学  
12月8日～12月9日 野村財団  
3月1日～3月31日 立川市柴崎学習館  
3月4日～3月9日 原爆の図「第10部<署名>」を展示する杉並区民の会

#### 【取材協力・資料提供】

DVD「日本を変えた女たち vol.5 猿橋勝子」 制作・丸善出版 グループ現代  
雑誌「カーサ・ブルータス」 東京BEST建築 100 2018年11月号  
デジタル教科書「中学社会」  
デジタル教科書(DVD-ROM)「平成31年度新しい道徳」(東京書籍)  
ユーキャン通信教育講座テキスト「大人の学び直し 日本史講座」  
城北交通 小学校社会見学コース資料  
長崎市 平和教育テキスト「平和のナガサキ」  
広島市 平和記念資料館ガイドブック  
東京教育観光ガイド 公益財団法人東京観光財団発行  
歌芝居「ピアノはうたう くじらもうたう」(和光小学校・26相模原親子劇場)

#### 【主な報道】

「湯川博士の日記に第五福竜丸」 5月11日 朝日新聞 読売新聞 京都新聞 共同配信  
「第五福竜丸展示 残すために 来月から9か月間改修」 6月20日 中国新聞  
「第五福竜丸展示館改修へ」 6月30日 朝日新聞  
「マグロと「福竜丸」考える」 8月11日 読売新聞  
「第五福竜丸資料貸出 休館中の展示館」 8月24日 静岡新聞  
「第五福竜丸から核問題考える」9月20日 東京新聞  
「ヒバクシャと向き合い40年」9月22日 朝日新聞  
「核実験の爪痕 伝える写真」9月25日 読売新聞  
「伝えたい原爆マグロ」9月23日 毎日新聞  
「小泉一雄の手紙 久保山さん哀悼」9月23日 静岡新聞  
『『第五福竜丸』延命 工法に工夫 展示館改修工事公開』10月21日 朝日新聞  
「第五福竜丸展示館の改修着々」10月21日 読売新聞  
「原爆マグロ 記憶残して」1月29日 朝日新聞  
「原水禁署名 始まりの絵 発祥の地・杉並 娘ら展示」1月30日 毎日新聞  
「放射能汚染は地球規模」1月31日 しんぶん赤旗  
「第五福竜丸忘れないで 元乗組員語り続ける」(共同配信 中国新聞、長崎新聞、大分合同新聞ほか)  
「米国人監督の『第五福竜丸』」2月26日 東京新聞  
「ゴジラ 水爆への思い 第五福竜丸ビキニ被ばく65年」2月28日 毎日新聞  
「乗組員の苦悩描く 第五福竜丸の被曝 米監督アニメに」2月28日 朝日新聞  
「吹奏楽つむぐ被曝の記憶 ラッキードラゴン」2月28日 朝日新聞(九州版)  
「第五福竜丸忘れぬ 吹奏楽の調べ」3月1日 朝日新聞(東京・大阪版)  
「第五福竜丸題材に記録映画を制作した米国人監督」3月1日 中国新聞  
「原爆の図<署名> 運動発祥の杉並で展示」3月2日 朝日新聞  
『『どう核廃絶』第五福竜丸被ばく65年 米国人監督初上映』3月3日 東京新聞  
“U.S. fil tells story of nuclear test boat crew” 3月21日 The Japan Times  
「平和への思い マグロ絵画に託す 東京の高校生ら展示館に寄贈」(時事配信 河北新報ほか)  
「2乗組員のカルテ現存」 3月27日(時事配信 静岡新聞 ほか)

### 【対外活動】

- 4月21日 東京都地域婦人団体創立70年記念レセプション山本義彦代表理事・安田和也事務局長参加
- 5月6日 国民平和大行進出発式 山本義彦代表理事挨拶
- 7月12日 東京都原爆被害者協議会（東友会）追悼式典で山本代表理事弔辞
- 9月23日 久保山忌句会・東京原水協学習会で山本義彦代表理事講演
- 11月18日 東友会結成60年記念レセプションにて安田和也事務局長挨拶
- 3月1日 故・久保山愛吉氏墓前のつどいにて山本義彦代表理事挨拶。3・1ビキニデー集会で講演

### 【ボランティアの会】

- 4月～6月は展示館を訪れる学校・一般団体等にガイドを行った。
- 7月～3月の休館中も定期的集まり、「福竜丸だより」の発送作業を手伝った。
- 8月7日、安田和也事務局長を講師として、世界の核開発競争と核被害について学習会
- 10月13日 明治大学平和教育登戸研究所資料館で研修
- 1月6日 総会后、武本匡宏氏を講師に学習会

### 【学芸員による講話・講演等】

- 4月1日 三重・コープみえ・榎ゴーリキ取材「牛乳パックで作る第五福竜丸」工作教室
- 4月10日 岩倉高校
- 4月13日 共同通信新人研修
- 4月13日 日本YWCA有志によるワークショップ
- 5月22日 三重・八風中学校
- 5月30日 三重・橋北中学校
- 6月5日 三重・楠中学校
- 6月6日 三重・白山中学校
- 6月14日 日本大学法学部
- 6月30日 東京海洋大学・東京都港区平和青年団
- 7月29日 平和のための埼玉の戦争展
- 8月4日 原爆と人間展
- 8月22日 愛知県年金者組合
- 9月2日 十勝母と女性教職員のつどい
- 9月8日 平和博物館市民ネットワーク全国交流会
- 9月15日 トークセッションヒロシマ講座
- 9月22日 学習院女子大学
- 9月21日 和歌山・宇久井中学校
- 9月22日 マグロ塚の会
- 9月25日 史蹟探訪ろまんクラブ
- 9月26日 和歌山・太地中学校
- 9月28日 和歌山・潮岬中学校
- 9月29日 松戸市・平和の学校
- 10月5日 神奈川学園中学校
- 10月10日 三重・中部中学校
- 10月12日 和歌山・串本西中学校
- 10月16日 立教大学「原子力と現代社会」ゲストスピーカー
- 10月19日 三輪田学園中学校
- 10月24日 和歌山・色川中学校
- 11月28日 新潟発動機「船舶エンジン100年記念誌」
- 12月1日 神奈川県高校教職員組合教育研究大会
- 12月4日 恵泉女学園大学 ゲストスピーカー

12月8日 立教大学社会学部フィールド実習で第五福竜丸元乗組員・大石又七氏インタビュー  
 12月9日 杉並に「原爆の図 第10部『署名』」を展示する杉並区民の会プレ企画  
 12月12日 和歌山・光洋中学校  
 12月14日 中央区・佃中学校  
 1月20日 大分県母と女性教職員のつどい  
 1月29日 東京大学  
 2月3日 ライフミュージアムネットワーク主催フォーラム「語り継ぐために」  
 2月7日 横浜市立鶴見中学校  
 2月12日 尾道市立御調中学校  
 2月28日 おおさかパルコープ  
 3月\*日 リニューアル告知チラシ作成、広報

【行政庁との連絡等】

- ・夢の島公園協議会 毎月一回定例（都東部公園緑地事務所、オリンピック・パラリンピック工事事務所、夢の島熱帯植物館、東京スポーツ文化館等出席）
- ・展示館工事打合せ会議 毎週一回定例
- ・新木場連絡会 隔月開催（夢の島公園内施設、新木場地区鉄道会社、周辺企業との情報交換）

2. その他の事業（収益事業）

書籍・ミュージアムグッズの頒布（4月~6月）

3. 法人の管理運営

当年度に以下の通り諸会議を開催した

2018年5月6日 理事会  
 2018年5月26日 評議員会  
 2019年3月10日 理事会

賛助会員の異動は以下の通りである

|          | 2018年4月1日 | 2019年4月1日 |
|----------|-----------|-----------|
| 賛助会員（個人） | 307       | 304       |
| 賛助会員（団体） | 54        | 54        |
| ニュース購読会員 | 83        | 85        |